

- 一、輸入税の増加は市價の昂騰を來す。
- 二、市價の昂騰は製産力の増加を促す。
- 三、製産力の増加は市價の低落となる。
- 四、市價の低落は輸入税を要せざるに至る。

(丁)

我製鐵事業は關稅の保護を必要とし又之を 受くへき資格ある理由

今泉嘉一郎

數十年來朝野の熱心なる努力と、數年來時局の痛切なる要求とに依り、我國の製鐵事業は異常なる進歩をなしたり、蓋し過去二十年間に於て成したる、我國斯業の進歩は、歐米先進國か、曾て數世紀を費したるものにして、我か過去四年間の進歩は、歐米に於て數十年を要したるものなり、然れども製鐵事業は、多數の製品を抱括し、而して之か製品の製造事業經營には、各特種の事情を有するを以て、各種の製品か、同一歩調の發達を遂ぐるに至らざりしは亦止むを得ざる所なり、即ち或る種類の製品は、既に自給の域に達し、又は近き將來に於て之に達せんとし、他のものは尙一段の努力を要すと雖も、之か獎勵如何に、依ては、是亦遠からず自給し得へきものたるに至れり、然るに今や急激なる時局の變化に依り、從來全然我國と事情を異にしたる、外國市場の過剰品は、俄然として恐るへき破壊的暴落價格を以て侵入するに至れり、戦局の終結と共に變動の來るへきは、何人も豫期せる所にして、各自の觀察を以て何れも相當の準備に努力したりと雖も、此の如き急激の變動に對しては、殆ど準備を完うするの違なく、今や我製鐵事業は、何れの部分に於ても此の變動に對し、全く經營の目途立たず、唯手を拱して其

衰滅を待つのみ、此の如き場合に對して、國家が迅速に何等かの應急手段を執らんこと切實に希望する所なり、其如何なる方法に依るべきかは、別に具陳する所あるへし、唯是應急の策なるか故に、別に將來の策として、速かに保護關稅の「設定」を希望す。

保護關稅は、事業各部に就て其現在の進歩程度を斟酌するの要あるを以て、左に各事業の現況を述べん、之に依て見るも多くの事業は、既に相當の發達の遂けたるを以て、關稅保護を受くべき充分の資格あるものとす。

(一) 銑鐵

銑鐵製造事業は、鋼材壓延事業と共に製鐵事業の主要なる部類に屬するものにして、幸にも兩事業共に最も顯著なる發達をなしたり、明治三十二年は、一ヶ年僅に數萬噸、大正二年には二十四萬噸に過ぎざりし銑鐵產出量は、大正七年には六十萬噸に達せり、而して目下既設並に計畫中のものを合計するとき、一ヶ年百六十萬噸の產出力あるに至るへし。(左表參照)

右百六十萬噸の内二十萬噸を鐵鑄物に使用し、殘百四十萬噸を鋼材に使用するとすれば、少くとも各種鋼材百五十萬噸を造るを得可く、尙古鐵及スポンジアキヨンの供給充分なるに於ては、鋼材二百萬噸を造ること亦困難ならず、故に若し相當の保護を以て、既設及計畫中のものをして、速に其全力を發揮せしむるに於ては、邦人の經營にかゝる南滿地方の製品は別として、今後暫く外國銑鐵を輸入するの必要なからん。

既設及計畫中の銑鐵製造能力推定表

(大正八年一月)

銑鐵年產額	鐵				用炭			
	内地	朝鮮	滿洲	支那	内地	朝鮮	滿洲	支那
官立製鐵所	50,000	50,000	100,000	—	50,000	—	150,000	1,000,000
合計	50,000	50,000	100,000	—	50,000	—	150,000	1,000,000

我製鐵事業は關稅の保護を必要とし又之を受くべき資格ある理由

すに於ては、容易に今日の需用を充たして尙餘りあるを知るへし。

著名製鐵所既成製産能力表 (一)

著名製鐵所(名)	棒鋼形鋼			軌條	線材
	大	中	小		
八幡製鐵	一〇〇,〇〇〇	六〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	六〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
日本鋼管	—	二四,〇〇〇	一五,〇〇〇	—	—
釜石製鐵	—	二〇,〇〇〇	一五,〇〇〇	—	—
東京鋼材	—	一二,〇〇〇	一二,〇〇〇	—	—
神戸製鋼	—	二四,〇〇〇	—	—	—
川崎造船	—	二四,〇〇〇	一五,〇〇〇	—	—
大阪製鐵	—	—	一五,〇〇〇	—	—
岸本製鐵	—	—	—	—	三〇,〇〇〇
小倉製鐵	—	—	—	—	三〇,〇〇〇
合計	一〇〇,〇〇〇	一六四,〇〇〇	一二三,〇〇〇	六〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇

(注意) 南滿鞍山店、東洋製鐵、三菱兼二浦等は將來のものとして此外にあり。

著名製鐵所既成産能力表 (二)

著名製鐵所(名)	板鋼			鋼管
	大	中	小	
八幡製鐵	四〇,〇〇〇	二四,〇〇〇	五,〇〇〇	—
淺野製板	四〇,〇〇〇	—	—	—
東海鋼業	—	二〇,〇〇〇	三六〇〇	—

我製鐵事業は關稅の保護を必要とし又之を受くへき資格ある理由

日本鋼管	—	一八、〇〇〇	三、六〇〇	二四、〇〇〇
川崎造船	四〇、〇〇〇	—	—	—
大阪鐵板	—	一八、〇〇〇	—	—
住友伸銅所	—	—	一二、〇〇〇	—
合計	一三〇、〇〇〇	八〇、〇〇〇	二四、二〇〇	三〇、〇〇〇

(注意) 八幡製鐵、大阪製鐵、三菱兼二浦及小倉製鐵等の新設鋼板工場は將來のものとして此
外にあり。

全國需用高

輸入の最高期たる

大正二年及三年の平均需用高

供給能力

著明製鐵所既成製産能力

棒形	大	六六、一七四噸	一〇〇、〇〇〇噸
	中	六六、八七二	一六四、〇〇〇
小	一〇九、〇九六	一二二、〇〇〇	
合計	二四二、一四二	三八六、〇〇〇	
板	大	五六、六八二	一一〇、〇〇〇
	中	七六、五五三	八〇、〇〇〇
小	一四、一八九	二四、二〇〇	
合計	一四七、四二四	二二四、二〇〇	

(三)筒及管

此種製品の内鑄鐵管は既に久しく全然自給せり、鋼管に至りては徑六吋以下のもの、是亦殆と自給の能力に達せるを見る。

(四) スピーゲルアイゼン、フェロマンガニース、フェロシリコン、

シリコスピーゲルアイゼン、フェロクロム其他不可鍛性鐵合金、

此等鐵合金は戰時中、勃興せる電氣冶金工場約三十箇所に及ひ、其製産能力は完全に自給の目的を達し得るのみならず、寧ろ過剰を告げんとするに至れり。

(五) 特種鋼、

本製品は、從來の坩堝鋼工場の外、戰時中勃興せし電氣冶金工場多く、兩者の合計無慮二十箇工場を算するに至り、是亦全く自給の域に達せるを見る。

(六) ワイヤロッド、電鍍線、電鍍板、釘類、建築材料、

是等は未だ完全に自給の域に達せずと雖も、元來何れも前記重要鋼材の再加工品たるに外ならず、従て主要鋼材製造力か、充分に其力を發揮し、之か原料を供給するに於ては、其製産力を増大して、自給の目的を達すること、比較的容易の業なりとす。

(七) 錫鍍板、二十六番以下の薄板、徑六吋以上の鋼管、

是等は目下計畫中のものあれ共、未だ製産を見ず、而も技術上及經營上困難多きものに屬するに依り、差當り其必要を見さるか如きも、相當の保護を設くるに於ては、其勃興を促進するを得可しと信す。

(丁)